

鉄鋼新経営

描き挑む成長のビジョン

—2024年4—
9月期決算をどのよう
に評価しているか。

「前年同期比で減収
になり、赤字に転落し
た。素形材関連の受注
が少なく、生産・販売量
に評価しているか。」

「25年3月期から
3カ年の中期経営計画
がスタートした。」

「各施策を着実に進
めているが、現中計の
策定時から取り巻く環
境が大きく変化してい



氏勝尾 鷺尾

日本鑄造社長

る。トランプ氏の大統領
領再登板の市場に与え
る影響が不透明であ
り、動向を注視したい」

対象品種を拡大し、現時
点で6割程度をカバーし
ており、最終的には全て
の鋼種に適用したい。溶
接補修ロボットは戦力化
しつつあり、半導体製造
装置向け鋳鋼品に係る欠
陥補修に適用しており、
省人化・生産性改善に寄
与している。今後は砂型
造型設備のミキサーを更
新する。大型ミキサーを

対象品種を拡大し、現時
点で6割程度をカバーし
ており、最終的には全て
の鋼種に適用したい。溶
接補修ロボットは戦力化
しつつあり、半導体製造
装置向け鋳鋼品に係る欠
陥補修に適用しており、
省人化・生産性改善に寄
与している。今後は砂型
造型設備のミキサーを更
新する。大型ミキサーを

徐々に採用数量が増えて
おり、今後の受注増に期
待している。また、LE
Xシリーズの熱膨張ゼロ
合金『LEX-ZERO』を用
いた3D積層造形製品が
採用された。宇宙観測衛
星のニーズはさらに高ま
る可能性があるが、今回の
採用を機に航空宇宙分野

「23年10月に池上工
場の操業を休止し、川
崎工場に機能を移管し
た。需要家の品質認証
は8割程度取得済み
で、川崎工場と中国・

対象品種を拡大し、現時
点で6割程度をカバーし
ており、最終的には全て
の鋼種に適用したい。溶
接補修ロボットは戦力化
しつつあり、半導体製造
装置向け鋳鋼品に係る欠
陥補修に適用しており、
省人化・生産性改善に寄
与している。今後は砂型
造型設備のミキサーを更
新する。大型ミキサーを

徐々に採用数量が増えて
おり、今後の受注増に期
待している。また、LE
Xシリーズの熱膨張ゼロ
合金『LEX-ZERO』を用
いた3D積層造形製品が
採用された。宇宙観測衛
星のニーズはさらに高ま
る可能性があるが、今回の
採用を機に航空宇宙分野

徐々に採用数量が増えて
おり、今後の受注増に期
待している。また、LE
Xシリーズの熱膨張ゼロ
合金『LEX-ZERO』を用
いた3D積層造形製品が
採用された。宇宙観測衛
星のニーズはさらに高ま
る可能性があるが、今回の
採用を機に航空宇宙分野

ロボ新設スマート化着々

無錫市に製造拠点を置
く企業とでOEM契約
を締結し、鋳造品を購
入。当社で品質管理・

集約して作業効率をア
ップし、生産性を高めて
きたい」

市場に本格参入する。L
EXシリーズの今期売上
高は前期並みを見込む。
グリーンキャストインゲ
スは採用実績が増えるよ
う、アピールを強める。
川崎で製造するカーボン
フリーの鋳造品販売量に
ついて、日本海事協会か
ら第三者認証を取得して
いるが、3D積層造形製
品、福山の鋳鉄品につい
ても認証取得を計画す
る。

市場に本格参入する。L
EXシリーズの今期売上
高は前期並みを見込む。
グリーンキャストインゲ
スは採用実績が増えるよ
う、アピールを強める。
川崎で製造するカーボン
フリーの鋳造品販売量に
ついて、日本海事協会か
ら第三者認証を取得して
いるが、3D積層造形製
品、福山の鋳鉄品につい
ても認証取得を計画す
る。

品質保証を行い、需要
家に出荷している。川
崎はスマートファクト
リー化に向けて進めて

「24年4月に10ト高周
波誘導電気炉を導入し
た。これまで低周波誘導
電気炉2基を設置してい
たが、両炉ともに稼働率
が低く、間欠操業が続い
ていた。新設した高周波
炉に集約して連続操業に
切り替えたことで溶解効
率が大幅にアップし、短
時間での鋳造が可能にな
り、生産性が高まってい
る。川崎で取り入られて
いる動線解析を横展開し、
所内レイアウト最適化な
どを図る」

市場に本格参入する。L
EXシリーズの今期売上
高は前期並みを見込む。
グリーンキャストインゲ
スは採用実績が増えるよ
う、アピールを強める。
川崎で製造するカーボン
フリーの鋳造品販売量に
ついて、日本海事協会か
ら第三者認証を取得して
いるが、3D積層造形製
品、福山の鋳鉄品につい
ても認証取得を計画す
る。

市場に本格参入する。L
EXシリーズの今期売上
高は前期並みを見込む。
グリーンキャストインゲ
スは採用実績が増えるよ
う、アピールを強める。
川崎で製造するカーボン
フリーの鋳造品販売量に
ついて、日本海事協会か
ら第三者認証を取得して
いるが、3D積層造形製
品、福山の鋳鉄品につい
ても認証取得を計画す
る。

航空宇宙分野・グリーン製品注力

「新しい鋳造方法を
開発した。」

「3D積層造形技術を
活用し、鋳包み材に3D
積層造形製品を用いる新
しい鋳造方法を開発し
た。24年9月に国内特許
を取得済みで、すでに実
用化しており、従来の方
法に比べて作業時間が半
減し、効果を発揮してい
る。鋳造する前にシミュ
レーションツールで湯流
れ解析や凝固解析を行う
が、欠陥が生じる可能性
がある箇所に3D積層造
形による鋳包み材を鋳型
に組み込んで鋳造品と一
体化させる。用いる金属
粉は水アトマイズ法で製
造し、普通鋼に近い成分
で、800kgの鋳造品
に対して、1%前後の重
量になる。実用化後、3
D積層造形装置がフル稼
働になり、24年4月に1
台増設し、2台体制とし
たが、さらなる増設も検
討する」

「働き方改革の一環と
して、25年4月に横浜駅
周辺で新事務所を開設す
る。本社スタッフは予定
などに応じてテレワー
ク、レンタルオフィスを
活用しているが、横浜駅
周辺にオフィスを構える
ことで、外勤者や出張者
の業務利便性などを高め
る。一方、社内文書のペ
ーパーレス化を進めてい
る。パソコンやタブレット
印刷するなどの紙の使用
量が前年比で9割減って
おり、地球環境保護や資
源有効活用の観点から、
最終的には完全ペーパー
レス化していきたい」

「新しい鋳造方法を
開発した。」

「3D積層造形技術を
活用し、鋳包み材に3D
積層造形製品を用いる新
しい鋳造方法を開発し
た。24年9月に国内特許
を取得済みで、すでに実
用化しており、従来の方
法に比べて作業時間が半
減し、効果を発揮してい
る。鋳造する前にシミュ
レーションツールで湯流
れ解析や凝固解析を行う
が、欠陥が生じる可能性
がある箇所に3D積層造
形による鋳包み材を鋳型
に組み込んで鋳造品と一
体化させる。用いる金属
粉は水アトマイズ法で製
造し、普通鋼に近い成分
で、800kgの鋳造品
に対して、1%前後の重
量になる。実用化後、3
D積層造形装置がフル稼
働になり、24年4月に1
台増設し、2台体制とし
たが、さらなる増設も検
討する」

「働き方改革の一環と
して、25年4月に横浜駅
周辺で新事務所を開設す
る。本社スタッフは予定
などに応じてテレワー
ク、レンタルオフィスを
活用しているが、横浜駅
周辺にオフィスを構える
ことで、外勤者や出張者
の業務利便性などを高め
る。一方、社内文書のペ
ーパーレス化を進めてい
る。パソコンやタブレット
印刷するなどの紙の使用
量が前年比で9割減って
おり、地球環境保護や資
源有効活用の観点から、
最終的には完全ペーパー
レス化していきたい」

「新しい鋳造方法を
開発した。」

「3D積層造形技術を
活用し、鋳包み材に3D
積層造形製品を用いる新
しい鋳造方法を開発し
た。24年9月に国内特許
を取得済みで、すでに実
用化しており、従来の方
法に比べて作業時間が半
減し、効果を発揮してい
る。鋳造する前にシミュ
レーションツールで湯流
れ解析や凝固解析を行う
が、欠陥が生じる可能性
がある箇所に3D積層造
形による鋳包み材を鋳型
に組み込んで鋳造品と一
体化させる。用いる金属
粉は水アトマイズ法で製
造し、普通鋼に近い成分
で、800kgの鋳造品
に対して、1%前後の重
量になる。実用化後、3
D積層造形装置がフル稼
働になり、24年4月に1
台増設し、2台体制とし
たが、さらなる増設も検
討する」

「働き方改革の一環と
して、25年4月に横浜駅
周辺で新事務所を開設す
る。本社スタッフは予定
などに応じてテレワー
ク、レンタルオフィスを
活用しているが、横浜駅
周辺にオフィスを構える
ことで、外勤者や出張者
の業務利便性などを高め
る。一方、社内文書のペ
ーパーレス化を進めてい
る。パソコンやタブレット
印刷するなどの紙の使用
量が前年比で9割減って
おり、地球環境保護や資
源有効活用の観点から、
最終的には完全ペーパー
レス化していきたい」

「新しい鋳造方法を
開発した。」

「3D積層造形技術を
活用し、鋳包み材に3D
積層造形製品を用いる新
しい鋳造方法を開発し
た。24年9月に国内特許
を取得済みで、すでに実
用化しており、従来の方
法に比べて作業時間が半
減し、効果を発揮してい
る。鋳造する前にシミュ
レーションツールで湯流
れ解析や凝固解析を行う
が、欠陥が生じる可能性
がある箇所に3D積層造
形による鋳包み材を鋳型
に組み込んで鋳造品と一
体化させる。用いる金属
粉は水アトマイズ法で製
造し、普通鋼に近い成分
で、800kgの鋳造品
に対して、1%前後の重
量になる。実用化後、3
D積層造形装置がフル稼
働になり、24年4月に1
台増設し、2台体制とし
たが、さらなる増設も検
討する」

「働き方改革の一環と
して、25年4月に横浜駅
周辺で新事務所を開設す
る。本社スタッフは予定
などに応じてテレワー
ク、レンタルオフィスを
活用しているが、横浜駅
周辺にオフィスを構える
ことで、外勤者や出張者
の業務利便性などを高め
る。一方、社内文書のペ
ーパーレス化を進めてい
る。パソコンやタブレット
印刷するなどの紙の使用
量が前年比で9割減って
おり、地球環境保護や資
源有効活用の観点から、
最終的には完全ペーパー
レス化していきたい」

「新しい鋳造方法を
開発した。」

「3D積層造形技術を
活用し、鋳包み材に3D
積層造形製品を用いる新
しい鋳造方法を開発し
た。24年9月に国内特許
を取得済みで、すでに実
用化しており、従来の方
法に比べて作業時間が半
減し、効果を発揮してい
る。鋳造する前にシミュ
レーションツールで湯流
れ解析や凝固解析を行う
が、欠陥が生じる可能性
がある箇所に3D積層造
形による鋳包み材を鋳型
に組み込んで鋳造品と一
体化させる。用いる金属
粉は水アトマイズ法で製
造し、普通鋼に近い成分
で、800kgの鋳造品
に対して、1%前後の重
量になる。実用化後、3
D積層造形装置がフル稼
働になり、24年4月に1
台増設し、2台体制とし
たが、さらなる増設も検
討する」

「働き方改革の一環と
して、25年4月に横浜駅
周辺で新事務所を開設す
る。本社スタッフは予定
などに応じてテレワー
ク、レンタルオフィスを
活用しているが、横浜駅
周辺にオフィスを構える
ことで、外勤者や出張者
の業務利便性などを高め
る。一方、社内文書のペ
ーパーレス化を進めてい
る。パソコンやタブレット
印刷するなどの紙の使用
量が前年比で9割減って
おり、地球環境保護や資
源有効活用の観点から、
最終的には完全ペーパー
レス化していきたい」

「新しい鋳造方法を
開発した。」

「3D積層造形技術を
活用し、鋳包み材に3D
積層造形製品を用いる新
しい鋳造方法を開発し
た。24年9月に国内特許
を取得済みで、すでに実
用化しており、従来の方
法に比べて作業時間が半
減し、効果を発揮してい
る。鋳造する前にシミュ
レーションツールで湯流
れ解析や凝固解析を行う
が、欠陥が生じる可能性
がある箇所に3D積層造
形による鋳包み材を鋳型
に組み込んで鋳造品と一
体化させる。用いる金属
粉は水アトマイズ法で製
造し、普通鋼に近い成分
で、800kgの鋳造品
に対して、1%前後の重
量になる。実用化後、3
D積層造形装置がフル稼
働になり、24年4月に1
台増設し、2台体制とし
たが、さらなる増設も検
討する」

「働き方改革の一環と
して、25年4月に横浜駅
周辺で新事務所を開設す
る。本社スタッフは予定
などに応じてテレワー
ク、レンタルオフィスを
活用しているが、横浜駅
周辺にオフィスを構える
ことで、外勤者や出張者
の業務利便性などを高め
る。一方、社内文書のペ
ーパーレス化を進めてい
る。パソコンやタブレット
印刷するなどの紙の使用
量が前年比で9割減って
おり、地球環境保護や資
源有効活用の観点から、
最終的には完全ペーパー
レス化していきたい」

「新しい鋳造方法を
開発した。」

「3D積層造形技術を
活用し、鋳包み材に3D
積層造形製品を用いる新
しい鋳造方法を開発し
た。24年9月に国内特許
を取得済みで、すでに実
用化しており、従来の方
法に比べて作業時間が半
減し、効果を発揮してい
る。鋳造する前にシミュ
レーションツールで湯流
れ解析や凝固解析を行う
が、欠陥が生じる可能性
がある箇所に3D積層造
形による鋳包み材を鋳型
に組み込んで鋳造品と一
体化させる。用いる金属
粉は水アトマイズ法で製
造し、普通鋼に近い成分
で、800kgの鋳造品
に対して、1%前後の重
量になる。実用化後、3
D積層造形装置がフル稼
働になり、24年4月に1
台増設し、2台体制とし
たが、さらなる増設も検
討する」

「働き方改革の一環と
して、25年4月に横浜駅
周辺で新事務所を開設す
る。本社スタッフは予定
などに応じてテレワー
ク、レンタルオフィスを
活用しているが、横浜駅
周辺にオフィスを構える
ことで、外勤者や出張者
の業務利便性などを高め
る。一方、社内文書のペ
ーパーレス化を進めてい
る。パソコンやタブレット
印刷するなどの紙の使用
量が前年比で9割減って
おり、地球環境保護や資
源有効活用の観点から、
最終的には完全ペーパー
レス化していきたい」

「新しい鋳造方法を
開発した。」

「3D積層造形技術を
活用し、鋳包み材に3D
積層造形製品を用いる新
しい鋳造方法を開発し
た。24年9月に国内特許
を取得済みで、すでに実
用化しており、従来の方
法に比べて作業時間が半
減し、効果を発揮してい
る。鋳造する前にシミュ
レーションツールで湯流
れ解析や凝固解析を行う
が、欠陥が生じる可能性
がある箇所に3D積層造
形による鋳包み材を鋳型
に組み込んで鋳造品と一
体化させる。用いる金属
粉は水アトマイズ法で製
造し、普通鋼に近い成分
で、800kgの鋳造品
に対して、1%前後の重
量になる。実用化後、3
D積層造形装置がフル稼
働になり、24年4月に1
台増設し、2台体制とし
たが、さらなる増設も検
討する」

「働き方改革の一環と
して、25年4月に横浜駅
周辺で新事務所を開設す
る。本社スタッフは予定
などに応じてテレワー
ク、レンタルオフィスを
活用しているが、横浜駅
周辺にオフィスを構える
ことで、外勤者や出張者
の業務利便性などを高め
る。一方、社内文書のペ
ーパーレス化を進めてい
る。パソコンやタブレット
印刷するなどの紙の使用
量が前年比で9割減って
おり、地球環境保護や資
源有効活用の観点から、
最終的には完全ペーパー
レス化していきたい」

(濱坂 浩司)